

実態に即した接地率の詳細評価 (2 / 2)

(第5回耐震・構造設計小委にて審議, 了承)

原子炉建屋を転倒させようとする力に対する耐震安全性を評価する指標である接地率について, 実態に即した詳細評価により, 目安値(65%)以上であることを確認した。

- 原子炉建屋の応答特性は, 5月19日報告時と詳細評価とはほぼ同等の結果であり, 建屋の耐震安全性は維持されると評価。

	NS方向	EW方向
実態に即した詳細評価 (建屋側方の地盤の影響を加味)	76%	67%